

令和5年度指定管理業務の自己評価票

施設	名称	結城市民情報センター・ゆうき図書館
	所在地	結城市国府町一丁目1番地1
	施設名	結城市民情報センター・ゆうき図書館
指定管理者	名称	公益財団法人結城市文化・スポーツ振興事業団
	所在地	結城市国府町一丁目1番地1
	業務内容	結城市例規 結城市民情報センターの設置及び管理に関する条例（抜粋） ゆうき図書館の設置及び管理に関する条例（抜粋） （指定管理者が行う業務） （1）施設の使用の許可及び制限に関する業務 （2）施設等の維持管理に関する業務 （3）社会教育の振興に資する業務 （4）図書館に関する業務 （5）その他の業務

評価項目	評価		
	個別点	平均点	区分

1. 市民の平等利用、サービスの質の維持・向上
 (1) 平等な利用を図るための方策

具体的な取組	①利用者が施設を平等に利用できるよう配慮		4	3.7	A
	結果	情報センター利用申請に対して、不許可とする理由がない限り、原則許可を行った。また、1団体4回の申請に制限し、多くの利用者が施設を平等に利用できるよう貸館業務を行った。 図書館は、一般公衆に役立つ図書や視聴覚資料（CD、DVD）の充実を図り、資料の閲覧、貸出し、レファレンスサービス、資料のリクエスト、相互貸借等、様々なサービスを提供した。			
	コメント	地方自治法第244条の「公の施設」として、関連法令を遵守し、誰もが平等に利用できるサービスの提供を行っていく。			
	②利用者に対する窓口、電話等での接遇、案内等を公平かつ適正に行う		4		
	結果	窓口、電話等での対応については、常に親切・丁寧な対応を行った。			
	コメント	利用促進サービス向上のために、職員が接遇意識の向上に努め、常に利用者の立場で対応をしていく。			
③自主事業計画等について、誰もが平等に参加できるよう適正に計画・実施					

具体的な取組	結果	年間を通して幅広い年齢層やニーズに対応するよう事業内容を考慮し、市民情報センターにおける文化事業、主催9件、ゆうき図書館における文化事業、主催14件、共催1件を実施した。なお、天候不良により、屋外開催の事業1件を中止した。	4		
	コメント	市民がふれあう機会や、自主的に参加できる機会の充実を図り、地域文化の活性化を図る。			
	④貸館受付の申請及び資料の貸出等については、利用者に平等に遵守させる		3		
	結果	結城市民情報センター、ゆうき図書館の設置及び管理に関する条例施行規則を遵守している。			
	コメント	催事の要望については、公共性や重要性を考慮し、弾力的な運用に努める。			
(2)サービスの維持及び向上の取組					
具体的な取組	①利用件数・利用者数向上への取組		4	3.5	A
	結果	<p>情報センターでは、貸館申請の際、催事内容に応じて適切な利用時間の提案を行った。また、利用者との事前打合せを行い、無理・無駄のない利用となるよう確認・調整を行った。</p> <p>図書館では、年間を通して魅力ある施設となるよう、季節ごとに「七夕イベント」、「本の福袋」など大人から子どもまで楽しめるイベントを企画・実施した。</p> <p>また、開館記念日にあたる5月には、開館19周年記念グッズ「オリジナル折り紙」「ブックカバー」の配布を行った。</p>			
	コメント	施設の有効利用に努めながら、利用者サービスの向上を図る。			
	②利用者への適正な情報提供		4		
結果	<p>アクロス情報誌、パンフレット、ホームページ、X（エックス）、市の広報誌や公式SNS（LINE）、地域情報誌・図書館貸出レシートに加え、館内モニター、ケーブルテレビなどの放送媒体も活用し、広く情報提供に務めた。</p> <p>また、市のネーミングライツ事業で当施設の愛称として時限的に使用することになった「石島建設プラネットホール・ゆうき図書館」の名称を、ホームページや広報印刷物などにおいて積極的に使用し、地域に根ざしたより親しみやすい施設となるべくPRした。</p>				

	コメント	市民や利用者により親しまれる施設となるよう、より多様なアプローチで広報活動を展開する。			
	③職員間での適正な情報共有		3		
	結果	毎朝の職員ミーティング、月1回の全体ミーティング、課内及び係内の各ミーティングを定期的に行った。また、必要に応じて、グループウェアデスクネットを利用し、職員間の情報共有を行った。			
	コメント	日頃から職員間のコミュニケーションを大切にす			
	④施設の適正な維持管理・修繕		3		
	結果	施設及び設備機器の保守点検を実施し、修繕箇所がある場合は速やかに対応した。			
	コメント	維持管理に関する業務については、専門技術者を活用することにより、利用者サービスの向上につながる判断した場合は、積極的に再委託を行う。			
(3)利用者からの意見の把握・反映及び苦情に対する対応					
具体的な取組	①利用者からの苦情・要望等に対する十分な対応		3		
	結果	「ご意見箱」を設置し利用者からの苦情・要望等の把握に努めた。回答は館内に掲示し、速やかに対応できるものは改善に努め、検討が必要なものは職員又は市指導監督課と協議し対応した。			
	コメント	トラブルが発生した場合は、誠意をもって対応し、利用者の立場で最良の解決策を検討・対処する。			
	②職員間での適正な情報共有		3	3.0	B
	結果	利用者からの指摘で、問題点や検討事項が起きた場合、職員間で情報を共有し対応した。			
	コメント	苦情の内容を分析し、発生原因を究明のうえ、解決策を検討する。			
	③市と関係機関との連携体制の整備		3		
結果	市指導監督課と定期的な事務連絡会、各担当者間の連絡報告を随時行った。				
コメント	本事業団だけで処理できない事案については市と連携して解決を図る。				
2. 施設の利用促進等の取組等					
(1)利用促進策					
	①エントランスホール等オープンスペースへの来場拡大、施設を知ってもらう活動の実施		3		
	結果	市の賑わい創出、観光誘致を目的に行われる結城夏祭り関連事業「大神輿展示」や、TMO結城主催			

具体的な取組		の「結城のひなまつり」において展示協力を行った。 その他、利用者向けのパンフレットコーナーを設置し、事業団各施設の利用案内や事業PRを実施した。			
	コメント	施設への関心や理解度を高め、市民との関係を深めていくことにより施設の活性化を目指す。			
	②地域の育成と支援、地域への貢献				
	結果	市との連携協力を図り、結城市観光協会主催の「結城夏祭り」や「きものday ゆうき」、その他、市のおもてなし事業「水戸線地酒列車」などに協力し、結城市のPRに努めた。 また、市民の文化活動の活性化に寄与するべく、結城市文化協会の主催する発表会や加盟団体の実施する催事への協力・支援を行った。	4	3.2	B
	コメント	発表や交流の機会を提供できる施設として機能するとともに、情報提供や支援をしていく役割を担う。			
	③市民の創造・交流の支援				
	結果	みゆき広場を利用し行われた、市民のふれあい・交流を目的として市民団体が主催するイベントへの協力・支援を行った。	3		
	コメント	発表や交流のできる施設として、利用者が積極的に活用できるよう支援を行う。			
	④施設稼働率を高めるための利用者サービスの実施				
	結果	貸館による催物に関し、適切なプランの提案、無理・無駄のない利用となるようアドバイスや協力を利用形態に応じて行なった。	3		
コメント	利用形態に応じた柔軟な各種サービスの提供を行ない、常に利用者の意見に耳を傾け、速やかな対応を行う。				
(2) 魅力的な自主事業の実施					
具体的な取組	①地域に根ざした事業展開				
	結果	主催事業として、結城市の伝統工芸品である紬を使ったワークショップ「紬生地でメガネケース作り」を実施した。 また、地元企業と連携協力し「カメラレンズ工作教室」を実施した。	3		
	コメント	今後も、地域文化に根ざした事業展開に努め、産地活性化、地域活性化を支援する。			
	②鑑賞型事業の実施				
結果	天体ドームの有効活用及び利用者拡大のため「コズミックフォトギャラリー2024（天体写真展）」	3			

	と題し、情報センター4階の天体望遠鏡から撮影した星座、太陽、月等の写真展示を中心とした事業を実施した。 また、天体観望会は季節に合わせた日時設定を行い、利用推進に努めた。			
コメント	今後も、施設の有効活用・利用促進につながる事業展開を目指す。			
③普及啓発・育成事業の実施				
結果	図書館事業として、小学生を対象に、図書館利用の動機づけとする「としょかんたんけんツアー」や、図書館の仕事に関わりながら、図書館司書についての理解を深め、読書活動推進リーダーとなる「子ども司書養成講座」を実施した。 また、「詩」の創作活動を通じて、結城市の文芸振興を図るとともに、積極的に未来に向かう創造性豊かな青少年の育成に寄与することを目的とした「第16回新川和江賞～未来をひらく詩のコンクール～」を実施した。 その他、絵本専門士による絵本の読み聞かせの意義やコツ、絵本の選び方など、実演を交えた講義で、絵本の読み聞かせの基本を学ぶ、茨城県立図書館出前講座「絵本専門士による絵本の読み聞かせ」を実施した。 情報センター事業では、小学4年生を対象に、天体に関する知識・経験を深めていくことを目的に「天体教室&図書館見学会」を実施した。	4	3.5	A
コメント	心の動きを活発に、創造力を高め積極的に未来に向かう青少年育成のため事業を実施する。			
④市民参加型事業の実施				
	三世代が、共に楽しみ、協力し、喜び、ふれあえる機会の提供として開館記念日イベント「第6回キッズわいわいフェスティバル」を実施した。 その他、「大人がつくるミニブック」や、子ども向けワークショップ「ぼく、わたしの本箱」、「分光器を作ってみよう！」などを実施した。	4		
コメント	市民に、より親しまれる施設として、施設と地域を繋げるための事業を実施する。			
3. 適正な施設及び設備の維持管理等				
(1) 施設・設備の維持管理策				
① 施設の清掃と美観の維持		3		

具体的な取組	結果	施設の清掃は、館内が常に清潔な状態に保たれるよう、外部委託により日常的に行っている。 また、感染症予防のため、消毒液の設置を行った。 全館一斉清掃に関しては、施設貸出への影響を抑えるため、休館日に作業及び他点検等を実施した。	3	3.2	B
	コメント	施設及び敷地内において良好な衛生環境、美観の維持に心掛け、安全かつ快適な空間を保つことに努める。			
	②適切な保守点検の実施				
	結果	外部委託により、適切・適法な保守点検を行った。			
	コメント	今後も専門技術者による保守点検を行っていく。			
	③改修・修繕の対応				
	結果	軽微なものについては本事業団において速やかに修繕し、その他のものについては市への報告・提案、または協議を行い、対応した。			
	コメント	保守点検等により明らかとなった不具合については、利用者への影響度、緊急性、費用対効果等の様々な視点で、最も効果的、効率的な対策を検討する。			
	④職員による日常点検の実施				
	結果	職員は日常的に敷地内を巡回し、施設の不具合、非常ドアの動作等の確認に努めている。			
コメント	施設を安全に、かつ安心して利用できるよう、日常点検を行い、常に施設の保全に努める。				
⑤施設の保全計画					
結果	施設・設備の維持管理に関する業務の具体的計画に基づき、点検を実施した。				
コメント	あらかじめ予想される劣化による状況や、改修方法等についての情報収集に努め、将来にわたって計画的に改修が実施されるよう、継続的に維持管理計画を作成し、保全に努める。				
(2)環境に配慮した取組					
具体的な取組	①クール・ウォームビズの実施		3	3.0	B
	結果	クール・ウォームビズを市に準じて実施した。 空調温度は、利用者が快適に利用できるような適正温度となるよう、小まめな調整を行った。			
	コメント	継続的に館内環境を保ちながら実施する。			
	②施設利用時間に合わせた空調起動の調整				
結果	利用者へ影響を及ぼさない範囲で可能な限りの調整を行った。				

	コメント	継続的に館内環境を保ちながら実施する。			
	③施設内各スペースの時間帯による節電		3		
	結果	利用者へ影響を及ぼさない範囲で可能な限りの節電を行った。			
	コメント	継続的に館内環境を保ちながら実施する。			
	④エコオフィス・施設化への取り組み		3		
	結果	古紙や間伐材を使用した商品の購入を行った。			
	コメント	継続的にエコオフィス施設化への取り組みを実施する。			
	⑤資源ごみのリサイクルや節水の心掛け		3		
	結果	職員自ら無駄をなくす「省エネルギー」への意識を常に持ち実践した。資源ごみのリサイクルは、市の収集方法に沿って行った。			
	コメント	継続的にリサイクルや節水への取り組みを実施する。			
	⑥環境保全の取り組み		3		
	結果	平成21年1月5日に、結城市において宣言されたISO14001自己宣言に則り、地球温暖化防止に取り組んだ。			
	コメント	継続的に環境保全への取り組みを実施する。			
4. 安全対策、危機管理体制等に対する取組					
(1) 利用者の安全確保策					
具体的な取組	①安全で快適な環境の整備		3		
	結果	職員の日常巡回点検と、専門技術者による設備点検をバランスよく実施し、安全確保に努めた。また、利用者への配慮として、館内表示の整備のほか、貸出し用車いすの管理、多目的トイレ等を、障害物の有無等の確認のため、日常的に巡回した。また、感染症予防のため消毒液の設置を行った。			
	コメント	利用者がいつでも安全で快適な環境で活動に専念できるよう、施設・設備等の安全管理を徹底する。			
	②日常の事故防止等の安全対策		4	3.1	B
結果	開館前に、利用目的以外の駐輪自転車の撤去及びゴミ拾いを兼ねた館外巡回を行った。また、整理整頓を心掛け、危険箇所の早期発見に努めた。その他、施設に繋がるペDESTリアンデッキに照明を整備し、歩行者の転倒事故等の防止対策を行った。				

具体的な取組	コメント	常に防災、防犯の意識を持って安全管理を行う。			
	③専門技術者による各種保守点検や業務委託の実施				
	結果	専門技術者による適正な各種保守点検や業務委託を行った。	3		
	コメント	設備管理業務には必要な資格や技能を有する技術者を選定し、委託業務の実施にあたっては、業務内容を把握して適切な指導監督を行う。			
	④日常的な防災意識・防災体制の充実強化				
	結果	消防計画を作成し、防災体制を整備するとともに、常に防災の意識をもって行動した。	3		
	コメント	日常的な防災意識・防災体制の充実強化に向けた取り組みを行う。			
	⑤犯罪等の防止対策				
	結果	街路灯の確保、職員の定期巡回、監視カメラ等により犯罪、不法投棄、放置自転車等の防止及び不審者対策を講じた。 また、施設に繋がるペDESTリアンデッキに照明を整備し、夜間等における犯罪防止対策を行った。	3		
	コメント	警察、各関係機関の協力を得ながら対応を図る。			
	⑥関係機関との連携体制				
	結果	日頃から、市、地元警察署、消防署との連絡を密にとり、情報を共有し、緊急事態の発生に備えた。	3		
	コメント	相互に緊密な情報交換を行い、情報収集連絡体制を確立する。			
	⑦応急救護についての適切な対応				
	結果	「危機管理マニュアル」の自己処理要項に沿って行動し迅速かつ適切な連絡・対応を行った。	3		
	コメント	継続的に消防署等による救急救命講習及びAED講習を受講する。			
	⑧舞台等利用上の安全管理の徹底				
	結果	利用者が安全に施設を利用できるよう、職員の立会による現場確認や、利用者へのアドバイスを行った。	3		
	コメント	安全に留意して貸出しを行う。			
	⑨賠償責任保険への加入				
結果	施設賠償責任保険、サイバー保険、マネー包括保険に加入している。	3			
コメント	損害時は、加入している保険で対応する。				
(2)事故発生時の危機管理対策					
	①危機管理方針による適切な対応	3	3.0	B	

具体的な取組	結果	緊急時の対応は「危機管理マニュアル」「センター消防計画」に沿うものとし、事故、災害等の発生の際には、人命の安全を最優先に考え行動した。	3	3.0	B
	コメント	緊急時には、正確な情報を収集し、迅速に対応を決定する。利用者の安全を最優先に考え行動する。			
	②有事における避難誘導體制の整備				
	結果	「危機管理マニュアル」避難経路図に沿って、利用者を安全に誘導できる訓練を行った。			
	コメント	火災や地震、事故が発生した時は、利用者に被害が及ばないことを最優先とする。			
	③防火避難訓練及び防犯訓練の実施				
	結果	防火避難訓練は年2回実施し、防犯については、日頃から防犯を意識した巡回、ドアの施錠等を徹底した。			
	コメント	定期的な防火避難訓練並びに防犯訓練を実施し、それぞれに対する意識の高揚を図る。			
	④職員緊急連絡網の作成				
	結果	緊急時に備えて緊急連絡網を作成した。			
コメント	毎年作成を行う。なお、人事異動や退職者があった場合は速やかに訂正を行い、職員全員に周知徹底する。				
(3)個人情報保護の為の措置					
具体的な取組	①利用者の適正な個人情報保護		3	3.0	B
	結果	個人情報保護の重要性を認識し、個人情報を適切に保護するために、「個人情報の保護に関する法律」及び「公益財団法人結城市文化・スポーツ振興事業団個人情報保護規程」を遵守している。			
	コメント	個人情報の適正な管理を行うとともに、適正な取り扱いを徹底する。			
	②本事業団情報公開規程の適正な運用				
結果	「公益財団法人結城市文化・スポーツ振興事業団情報公開規程」を定めて運用をしている。	3	3.0	B	
コメント	個人情報を保護することは、「公の施設」管理運営に際して課せられた社会的責務であるとともに、社会の信頼を得て、種々の活動をする上で必要不可欠なものとする。				
5. 指定管理者の安定性					
(1)公益性の推進					
	①結城市民の創造的な活動の育成とスポーツ振興を図り、もって市民の振興と発展に寄与する		3	3.0	B

具体的な取組	結果	結城市民憲章の精神に基づき、また結城市総合計画等を十分に把握し、それらを具体化するサポート役となるよう、職員全員が一丸となり、より信頼される事業運営を目指した。			
	コメント	今まで以上に文化・スポーツ振興事業団設立の意義と役割に鑑み、財団の30年以上に渡り蓄積したノウハウや、管理面や技術面における市民文化・スポーツ振興の中核として、文化情報の受発信源、地域活性化の拠点としての機能を十二分に発揮できる事業運営に努める。			
(2) 経営基盤の安定性(資産・人員等)					
具体的な取組	①事業計画に基づく効率的な事業経営および効率的な資金運用		3	3.0	B
	結果	公益目的以外の施設の貸与や駐車場の管理等を行い、公益目的事業の財源確保に努めた。			
	コメント	柔軟な施設サービスを提供することにより、施設利用を促進する。			
	②効率的な人員配置		3		
	結果	サービス水準の維持向上のための人材育成と、適切な人員配置をすることで経費削減を図っている。			
	コメント	目的達成のため能力や知識、経験を有する人材の確保に努める。			
	③費用対効果を念頭に置いた適正な施設の維持管理		3		
	結果	職員による日常点検や、外部委託による各設備保守点検を定期的に行い、適正な施設の維持管理に努めた。計画的な維持管理が行えるよう、あらかじめ予想される劣化等の情報収集に努めた。			
	コメント	将来にわたって計画的に補修や改修が実施されるよう市と事前協議し、適切な保全計画を作成する。			
	④成果収益による余剰金の積み立て		3		
結果	管理運営経費の節減等による成果収益は、市と協議し精算した。				
コメント	引き続き経費節減に取り組む。				
(3) 経費の節減策					
具体的な取組	①運営コストの改善		3		
	結果	事務の合理化に努め、また財政状況、事業成果を明確に把握するとともに、予算の適正な執行を図り、運営コストの改善に努めた。			
	コメント	運営コストの見直しを引き続き行う。			
②公的資金(助成金・補助金等)の獲得による経費削減					

	結果	助成金や補助金等の公的資金は重要な財源となることから、情報を収集するとともに、市と協議しながら公的資金を積極的に活用する。	2	2.7	B
	コメント	助成金や補助金等の公的資金は、事業運営の重要な柱として位置づけ、これらの資金を積極的に活用する。			
③業務委託費の削減			3		
	結果	外部委託による保守点検業務委託等の契約に関しては、できる限り長期継続を締結し、契約料の削減に努めた。また一般(指名)競争入札を積極的に導入し、適切な業務仕様書と設計金額を策定したうえで、受託者を決定している。更に仕様の見直しによる経費の節減等も行った。			
	コメント	業務委託については、日頃から業務の見直しを行うことにより、常に効率的な施設維持管理と業務委託費削減に努める。			
④財務経費の削減			3		
	結果	財務及び会計に関して、財務規程を定め、統一的な処理を通じて財政状況及び事業成果を明確に把握し予算の適正な執行、事務経営の合理化に努めた。			
	コメント	近年の社会経済情勢悪化の中、市民情報センター・ゆうき図書館を管理運営する上で期待される役割をよく認識し、公平性、公正性、公益性が確保でき、より効率的な運営ができるよう努力する。			
評価結果			評価平均点		
1. 市民の平等利用、サービスの質の維持・向上			3.4	点	
2. 施設の利用促進等の取組等			3.3	点	
3. 適正な施設及び設備の維持管理等			3.1	点	
4. 安全対策、危機管理体制等に対する取組			3.0	点	
5. 指定管理者の安定性			2.9	点	
合計			15.7	点	
総合評価			B		

館長（課長）の評価及び改善点等

結城市民情報センター・ゆうき図書館は、市民が利用しやすい文化・情報の拠点としての役割を果たすべく工夫を凝らし開館から20年を迎えた。令和5年度は、指定管理者として3年が経過し、職員一丸となり、創意工夫を加え市民の求める事業計画を立て、よりよい施設運営に努めた。

実施事業は、情報センターにおける文化事業9件、ゆうき図書館における文化事業15件であった。新型コロナウイルスが5月に5類感染症に位置づけられ、感染対策を引き続き行いながら事業を実施した。来館者数は、258,501人、令和4年度と比較して16,961人（7%）増となった。これは、施設や図書館の利用が徐々にコロナ禍前の水準に戻りつつあることが一因として挙げられる。

施設の維持管理面においては、設備の経年劣化により、空調設備関係をはじめ、防火シャッター更新工事、館内消火器交換、誘導灯交換、多目的ホールスライディングウォール修繕、天体ドーム開閉スリット修繕など、市生涯学習課と連携を図りながら、必要な修繕を実施した。

また、市のネーミングライツ事業で時限的に使用することになった施設の愛称「石島建設プラネットホール・ゆうき図書館」を、広報関係において積極的に使用し、地域に根ざしたより親しみやすい施設となるべくPRしていきたい。

今後も利用者サービスに支障が生じないよう、指導監督課である生涯学習課の指導のもと、安心・安全な環境を整備しながら、適正な管理運営に努めていく。

指定管理者の総合的な評価・コメント

結城市民情報センター及びゆうき図書館の管理運営については、新型コロナウイルス感染症が令和5年5月に5類に移行されたことにより、引き続き感染拡大防止に努めながら、総体的に計画に基づき、状況に応じた適切な管理運営がなされたものと思料する。

施設の一体的管理のメリットを活かした事業展開を旨とし、自主、共催事業の実施に努めた。

図書館については、前年度と比較して来館者数は増となり、徐々にコロナ禍前の水準に戻りつつある。今後も、教育及び文化の発信拠点、生涯学習の場としての図書館運営を図る。

情報センターについては、図書館と一体化した施設の特徴を活かした事業の充実を図っていく。

施設面においては、安心して利用できる施設運営を心掛けた。また、開館後20年が経過し、経年劣化、不具合が生じており、きめ細かなメンテナンスと適切な対応、修繕が求められる。早期対応、効率的修繕等を実施するため、教育委員会とのより綿密な連絡調整のもと、利用者サービスに努める。

今後も常にコスト意識を持ち、計画的かつ効率的な指定管理費の執行に努め、指定管理者として適正な施設の管理運営をしていく。

管理者（結城市）の評価・コメント

施設開館20周年、また、「結城市民情報センター・ゆうき図書館」を一体化した指定管理者として令和3年度以降5年の指定管理期間更新がなされ、より効率的かつ効果的な管理運営が期待される場所である。

令和5年度は、5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されたことで、感染拡大防止対策を図りながら、文化事業、図書館運営に取り組んでいただいた。

今後も、新型コロナウイルス等の感染症と共生していくなかで、感染拡大防止対策に併せて、新規事業の企画及び魅力的なイベントの実施等、これまで蓄積した運営のノウハウを駆使した質の高い管理・運営を進めていただきたい。

施設管理においては、諸設備の経年劣化により修繕箇所が年々増加しており、修繕費・工事費の捻出増が懸念される。安全性及び利用者への影響等、優先順位を考慮し、定期的な点検により随時年次計画の見直しを行い、計画的に進めていただきたい。

【個別点】	4点	目標や計画を上回る成果があった。
	3点	目標や計画どおりの成果があった。
	2点	努力は認められるが、目標や計画を下回っており、継続して努力が必要。
	1点	目標や計画を下回っており、改善が必要。

【区分】	A	平均点が 3.3以上
	B	平均点が 2.6～3.2
	C	平均点が 1.6～2.5
	D	平均点が 1.0～1.5

【総合評価】	A	評価平均点合計が 16.1以上
	B	評価平均点合計が 12.6～16.0
	C	評価平均点合計が 7.6～12.5
	D	評価平均点合計が 5.0～7.5